

三方領知替えが生んだ地名「鉄砲山」

文政6年(1823)に忍・桑名・白河の大名家の国替え(三方領知替え)が行われてから今年で200年の節目を迎えます。今回は国替えが地域社会に与えた影響について紹介します。

領知替え以前の阿部家時代、忍城内の馬場曲輪には、鉄砲・遠的・芝矢の稽古を行う矢場がありました。しかし、桑名から松平下総守家が入封すると、藩士の武家地が不足したため、矢場や馬場といった武術稽古場を次々に廃止し、武家長屋を増築していきまし。それでも、住居を確保できなかった藩士も生じており、城郭周辺の村々に暮らす百姓から土地を借用して自ら住居を確保せざるを得ないあり様でした。後に算学者として知られる吉田庸徳も佐間村内



埼玉村角場での稽古が描かれた「砲術形状図式」(郷土博物館蔵)

に暮らしていたことが分かっています。このような事情で稽古場の空間は城内から姿を消しますが、武芸の鍛錬は武士の本分です。藩も武芸を奨励しましたので、次なる稽古場の候補地の決定が急がれました。国替えから4年後の文政10年(1827)、忍藩は江戸幕府に対して藩領内への砲術稽古場の新設を願い出て許可を得ています。そこでは、埼玉村と下忍村にそれぞれ「角場」と呼ばれる砲術稽古場を設置したいと述べています。砲術は弓術と同様に標的の後背に安土という土塁を必要としたため、埼玉村の角場には現在の埼玉古墳群の一つで、後に「鉄砲山」と呼ばれるようになる古墳が用いられました。忍藩が砲術稽古を行うために領内の村々には鉄砲や大筒の発砲音が轟いたことでしょう。この音を数十年間耳にした地域住民たちはこの古墳をいつしか「鉄砲山」と呼ぶようになりました。「鉄砲山」は領知替えによって生まれた地名といえるのです。

(郷土博物館 澤村怜薫)

はじめまして



令和4年8月生まれのお子さんを募集します

- 6月1日(休)～30日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、7月3日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和4年6月生まれのおともだち



香川羽楽ちゃん(長野)
令和4年6月17日生まれ
父・渉さん 母・早織さん
「癒し系おてんば娘の今後に期待♡」



風間彩千也ちゃん(持田)
令和4年6月29日生まれ
父・彩之介さん 母・かなさん
「笑顔いっぱい 大きくなってね♡」



蟻川希歩ちゃん(長野)
令和4年6月27日生まれ
父・和輝さん 母・あゆみさん
二歳も沢山笑って 過ごそうね♡



小林莉生ちゃん(城南)
令和4年6月22日生まれ
父・大輝さん 母・磨里乃さん
「明るく元気に育ってね!」



石井怜花ちゃん(棚田町)
令和4年6月8日生まれ
父・稔さん 母・智恵さん
「生まれてきてくれてありがとう! 元気で優しい子に育ってね♡」



石井憺花ちゃん(棚田町)
令和4年6月8日生まれ
父・稔さん 母・智恵さん
「生まれてきてくれてありがとう! 元気で優しい子に育ってね♡」

今月の表紙

元気な一日の始まりは「朝ごはん」から。朝食は体に良い影響を与えてくれます。しかし、5人に1人は朝食を食べる習慣がありません。この機会に朝食を見直してみませんか。おいしい朝ごはんを素敵な一日を始めましょう。



行田市の
マイナンバーカード交付率
66.9%
(5月1日現在)



環境にやさしい
植物油インク

詳細は総務省ホームページ